

ふでづか
筆塚

- ◇ 指定日 昭和54年7月24日
- ◇ 所在地 鍬ヶ崎上町
- ◇ 所有者 個人

江戸時代の農民や町人の子どもたちは、教育の場として開かれた寺子屋や手習い塾に通い、読み・書き・そろばんを学んでいました。この筆塚は、当地で松原塾を開いていた松原佐蔵まつばらさぞうの弟子たちによってつくられたものです。

碑文中央には、楷書の大字で筆塚の二文字が刻まれ、その下に筆軸五万本、中沢喜次兵衛弟子五百人とあります。

また、碑文右側には、「黄鶯児うぐいすの眠る枝あり梅の山」(作者不詳)の一句も添えられており、台座には、施主や世話人、石工の名前も記されています。

市内で唯一ひとつの筆塚であり、江戸時代の寺子屋教育をしのぶ貴重な史跡です。



高さ 186cm 幅 120cm 厚さ 60cm

嘉永五壬子二月
筆軸五万本
同後
中沢喜次兵衛
弟子五百人
同後
黄鶯児の眠る
枝あり梅の山